

令和 6 年度「工学部附属ものづくり創成センター主催の各種講習会」実施報告

上田 政洋, 宮崎 清孝, 伊藤 望美, 寺田 達二, 岩谷 健治, 前川 昇司

製作技術課

1 はじめに

製作技術課機械加工グループが技術支援している山口大学工学部附属ものづくり創成センター(以後, センター)及び山口大学工学部附属ものづくり創成センター機械工作工房(以下, 工房)では, 毎年, 工房を利用する教職員および学生に対して「工作機械取扱い法講習会」を実施している. さらに, センターに導入されているデジタルファブ리케이션機器である 3D プリンタや CO₂ レーザー加工機の利用方法についても講習会を実施し, さらに 3D プリンタで用いる STL データの作成に必要な 3DCAD ソフトの講習会も行っている.

今年度も昨年同様に対面・少人数を基本とする募集案内を全学に送信し, 随時研究室単位で講習会を受付, 各種講習会を実施した.

ここでは, 令和 6 年 4 月 1 日から令和 7 年 3 月 19 日までにを行った講習会について報告する.

2 講習会概要

2.1 工作機械取扱い法講習会

(場所) 機械工作工房

(講師) 全体の説明: 上田技術専門職員, 前川課長,

ボール盤: 岩谷教育研究系技術職員, 宮崎技術専門職員, 寺田技術専門職員

切断機械: 伊藤技術専門職員, 前川課長, 上田技術専門職員

旋盤: 寺田技術専門職員

アーク溶接等: 前川課長, 寺田技術専門職員

(内容) 機械工作工房利用に関する全体説明

要望のあった工作機械(ボール盤, 切断機械, アーク溶接等)の取扱い方法及び作業

作業上の注意事項

2.2 3D プリンタ利用講習会

(場所) 総合研究棟

(講師) 上田技術専門職員, 伊藤技術専門職員

(内容) スライサーソフトの説明

実機の取扱い方法及び作業, 作業上の注意事項

2.3 CO₂ レーザー加工機利用講習会

(場所) 総合研究棟

(講師) 上田技術専門職員

(内容) CO₂ レーザー加工機の取扱い方法及び作業, 作業上の注意事項

2.4 3DCAD 講習会

(場所) オンライン

(講師) 伊藤技術専門職員

(内容) Fusion360 の操作方法

3 講習会受講者数等

表 1. 講習会受講者数

講習会日程		講習会	学科	人数
2024 年	4 月 10 日	工作機械取扱い法講習会	機械工学科	7
	5 月 1 日	3D プリンタ利用講習会	機械工学科	3
	5 月 9 日	3D プリンタ利用講習会	機械工学科	5
	6 月 5 日	3D プリンタ利用講習会	社会建設工学科	5
	6 月 10 日	工作機械取扱い法講習会	電気電子工学科	6
	7 月 3 日	工作機械取扱い法講習会	電気電子工学科	2
	7 月 3 日	工作機械取扱い法講習会	応用化学科	5
	7 月 4 日	工作機械取扱い法講習会	社会建設工学科	5
	7 月 8 日	CO ₂ レーザー加工機利用講習会	電気電子工学科	2
	7 月 8 日	溶接	社会建設工学科	5
	7 月 9 日	工作機械取扱い法講習会	機械工学科	8
	7 月 10 日	3D プリンタ利用講習会	電気電子工学科	3
	7 月 12 日	3DCAD 講習会(オンライン)	応用化学科	1
	7 月 12 日	3DCAD 講習会(オンライン)	電気電子工学科	3
	7 月 16 日	3D プリンタ利用講習会	電気電子工学科	2
	7 月 16 日	工作機械取扱い法講習会	電気電子工学科	8
	7 月 30 日	3D プリンタ利用講習会	SP!ED	13
	7 月 31 日	3D プリンタ利用講習会	SP!ED	9
	8 月 27 日	3DCAD 講習会(オンライン)	知財センター	5
	9 月 17 日	3D プリンタ利用講習会	知財センター	5
	9 月 30 日	CO ₂ レーザー加工機利用講習会	感性デザイン工学科	4
	10 月 17 日	CO ₂ レーザー加工機利用講習会	機械工学科	4
	10 月 17 日	3D プリンタ利用講習会	機械工学科	4
	10 月 28 日	3D プリンタ利用講習会	機械工学科	2
	10 月 28 日	3D プリンタ利用講習会	機械工学科	2
	11 月 27 日	CO ₂ レーザー加工機利用講習会	感性デザイン工学科	3
	12 月 2 日	CO ₂ レーザー加工機利用講習会	機械工学科	2
2025 年	1 月 22 日	CO ₂ レーザー加工機利用講習会	感性デザイン工学科	3
	2 月 17 日	CO ₂ レーザー加工機利用講習会	感性デザイン工学科	3
合計				129

表 1 に示すように、各種講習会を 29 回実施し、受講者数(重複あり)は 129 名と多くの学科や組織からご参加をいただいている。受講者数・講習会実施回数を昨年度と比較すると受講者数は 1.29 倍(100→129 名)、講習会実施回数は約 0.97 倍(30→29 回)と、受講者数は前年度を上回り学生の積極的な受講参加が見られ、講習会実施回数は前年度より下回った。そのため、今年度は、受講者数が多く、講習会実施回数が減少ということで講習会自体の効率化が図られたと思われる。

4 まとめ

今年度も昨年度同様、講習会の要望がある研究室や組織に対して、不定期、基本的に少人数・対面で個別に講習会を開催することができた。

しかし、来年度からグループ員が減る状況の中でこれまで通りの講習会を開催できるのかは不透明である。講師の人数が減る中でいかに効率よく講習会を実施できるかが今後の課題である。